

医院がチームとして機能する時

－スタッフマネジメントと院長のセルフマネジメント－



みやかわ小児矯正歯科(鹿児島県霧島市) 宮川 尚之

略 歴

1996年3月 鹿児島大学歯学部卒業
2000年3月 鹿児島大学歯学部文部教官助手
2002年4月 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科文部科学教官助手
2005年4月 同退職
2005年5月 みやかわ小児矯正歯科開設 現在に至る

日本小児歯科学会	小児歯科専門医
日本障害者歯科学会	認定医
日本学校歯科医会	代議員
鹿児島県歯科医師会	学校歯科運営委員会委員長
始良郡歯科医師会	公衆衛生委員

小児歯科医療で最も大切なのは、歯科医師や歯科衛生士、受付といったスタッフが、チームとして機能する事すなわちチームワークです。

チームワークとは共通の目標に向かって、メンバーが自発的にそれぞれの才能を十分に発揮し、役割を果たすことでそれを実現する事です。

どんなに優秀なメンバーが集まっても、チームとして機能しなければ、目標は達成できないでしょうし、逆に未熟なメンバーでもチームとして機能すれば自ずと目標は達成できるでしょう。

もちろん、チームが成熟していくにつれて、より難易度の高い目標を達成することができるようになりますし、逆にチームが未成熟なのに、いきなり難しい目標設定をしても、チームワークを楽しむことができません。

今回は横軸にチームの成熟度、縦軸に目標の難易度をとって、院長がチームマネージャーとしてどのようなマネジメントをしていくのか、そして院長が自分自身のマネジメントをどのように行っていくのかを、6年前に大学病院勤務から直接開業した院長、卒業したばかりの歯科衛生士、社会人経験1年の受付から始まった私の医院で取り組んできた事をもとにお話をさせていただきます。

チームワークは涙と笑いと感動です。1日の3分の1以上を職場で過ごすわけですから、自分たちの職場を自分たちで「泣いて、笑って、ビックリする」エキサイティングな場所にできることはすばらしい事です。

ちょっと最近職場に楽しさが無くなったり、マンネリを感じたりしてらっしゃる院長先生、主任さん、スタッフの皆様の参考になればと思っています。